

交付金の活動中の事故発生状況(R1～)

年月日	受傷状況
R1.7.21	伐採作業中、倒木の下敷きとなり被災。頭蓋骨骨折、脳挫傷、肺気胸。事故5日後事故に起因したとみられる多臓器不全で死亡。
R1.10.31	伐採木の集積作業中につまずき、勾配約30度の斜面を約28m滑落し被災。頸椎を損傷し手術。事故後約2月後に死亡。
R2.7.9	侵入竹伐採作業中に足元が滑って転倒し、斜面途中の石に腰部をぶつけ被災。頸椎剥離骨折。
R2.8.5	勾配約45度の斜面で除伐作業中に左足に伐採した木が当たり被災。頸椎骨折。
R2.10.29	作業道の開設作業中、バックホウが谷に転落し、バックホウから投げ出された状態で発見され死亡。
R3.7.17	伐り捨て間伐の伐倒木の玉切り作業中、玉切り直後に材が跳ねて左足に激突し被災。左足脛骨骨折、左大腿骨剥離骨折。
R3.8.8	枯れ木を伐倒しようとしたところ、伐倒方向を誤り伐倒方向を制御するためにウインチを操作していた同僚に伐倒木が衝突し被災。左鎖骨及び左腕を骨折し手術。
R3.11.21	倒木の処理中に下敷きになり被災。背骨破裂骨折により脊髄を損傷し手術。
R4.9.26	かかり木処理中、想定した伐倒方向とは違う方向に木が倒れ、同僚の右足首が木の下敷きとなり骨折し手術。
R4.9.28	枯木の伐倒作業中、隣接木に倒れかかり、当該枯木の幹を押し倒そうとしたところ、幹上部が折れて落下し、背中を骨折。

年月日	受傷状況
R5.7.2	被災者は刈払い機を担いで斜面を歩いていたところ、足を滑らして3 m程度滑落した。その際に右肩を痛めたため一旦自宅に戻り、救急車で病院に行って診察を受けたところ右肩の脱臼と診断され、その場で医師に肩をはめてもらったが、当分肩を固定するよう指示があった。
R5.7.26	被災者はかかり木となっていた枯れ木をチェーンソーで伐倒したところ、伐倒した木が左ひざに直撃した。直撃した直後に他の構成員が確認したところ、立ち上がることや歩行が可能であったためすぐに作業を中止し被災者は帰宅後に病院で受診したところ、左ひざの皿が骨折しており、手術が必要なため入院することになった。
R6.1.17	他の作業員が枯れたスギ（直径25cm程度）をチェーンソーで伐採中、伐採した木が思った方向とは違う方向に倒れ、その方向にいた被災者に当たり、ヘルメットが割れた。救急車で病院に搬送され、頭部を20針縫合して1週間の入院。